



張弦梁施工



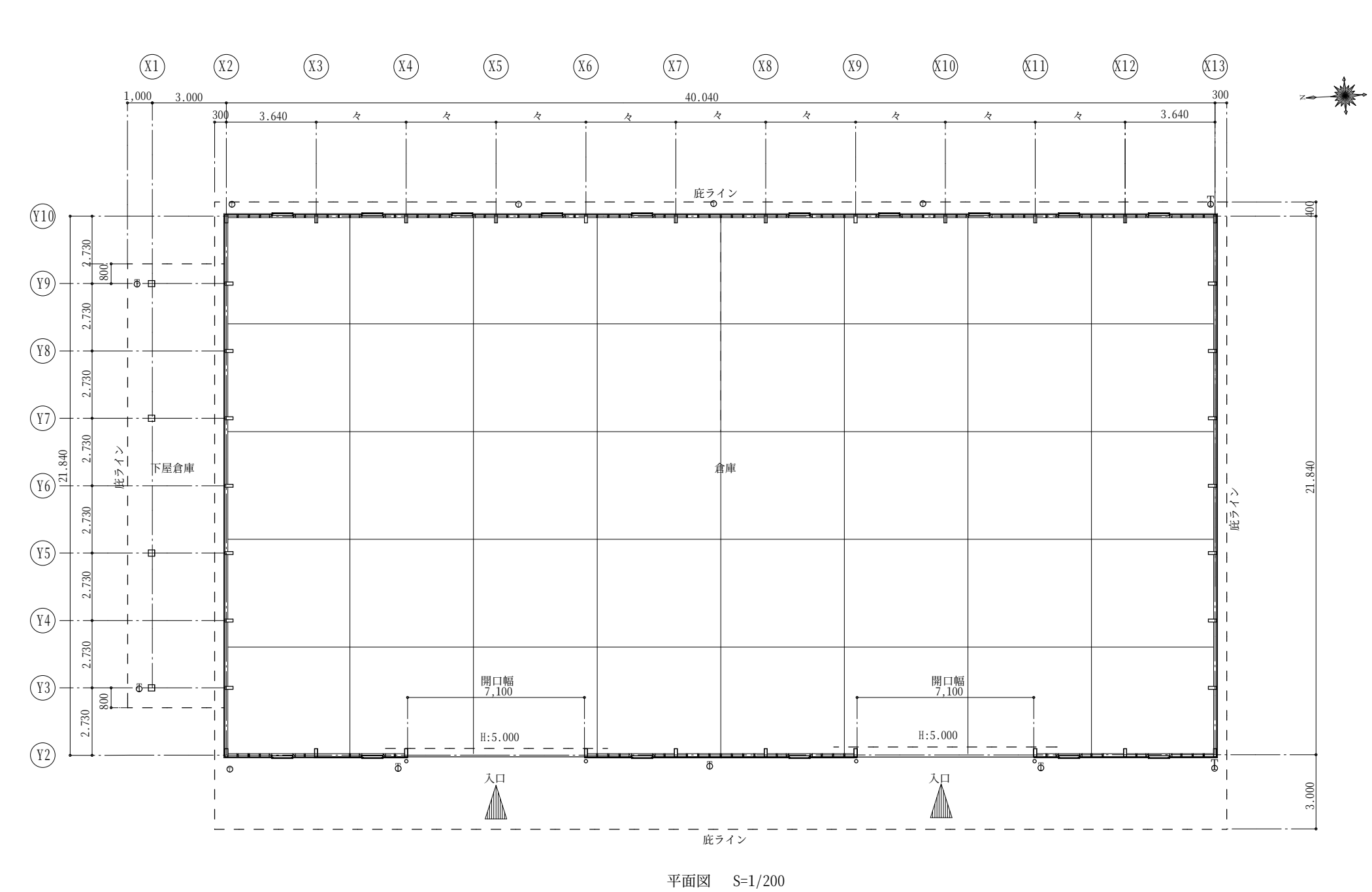
倉庫内部



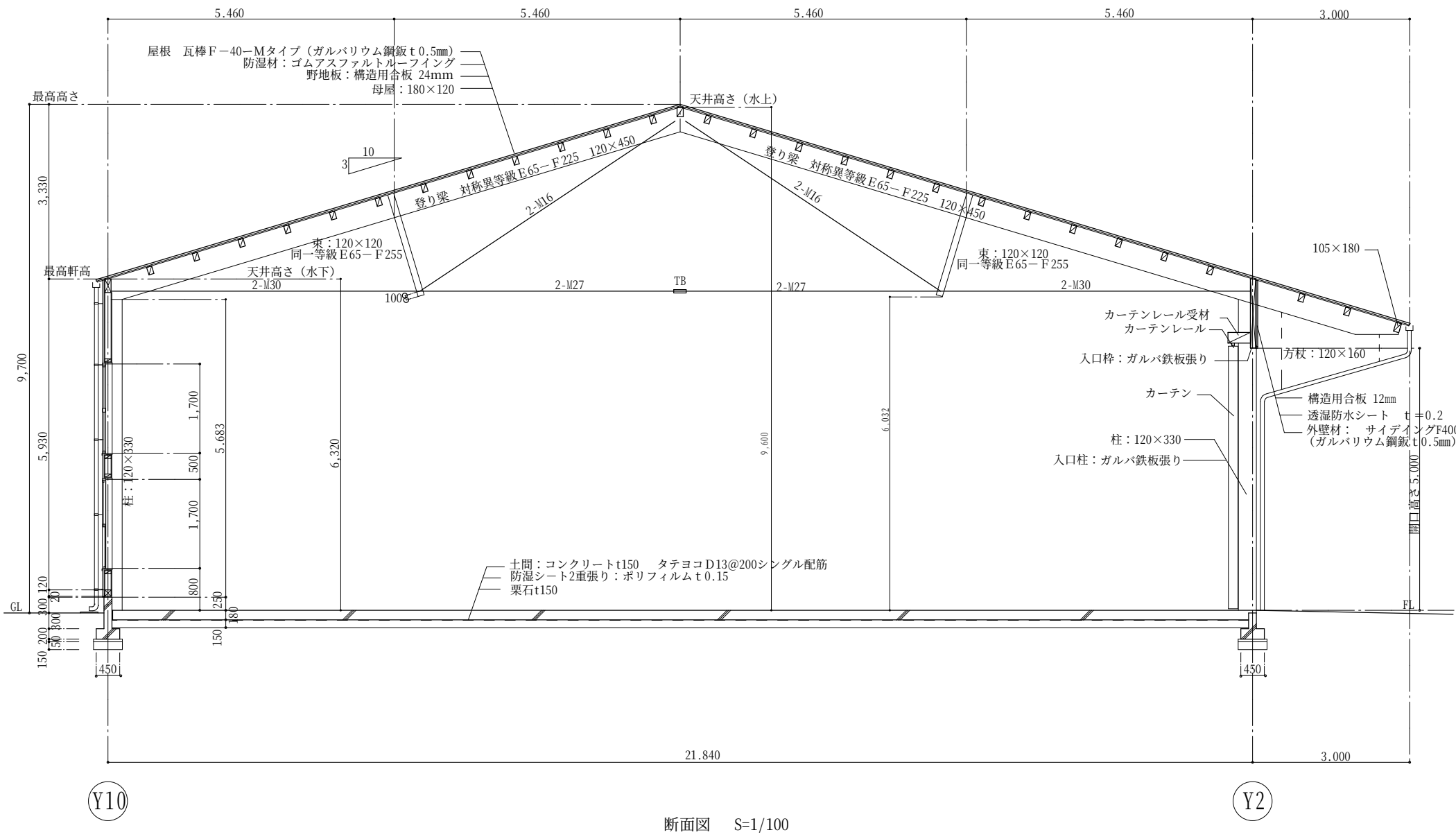
外観



張弦梁



平面図 S=1/200



断面図 S=1/100

国産木材需要増加を期待

当建物は大断面の集成材を使用することなく大スパン張弦梁構法で梁方向21.84m、桁行40.04m、軒高F L+5.7m、屋根こうばい3寸のプレカット倉庫が完成しました。ここでは二間置きに柱、梁（張弦梁）を架け大スパンのトラス構造を母屋で繋ぐことにより大空間の建築物となっています。この構法の特徴としては木の良さを活かし、木の弱いところを金属で補うという考えをもとに開発した高性能トラスで大スパン（最大33m）のハイブリッドトラスを実現した所です。材料は全て一般流通サイズを使用しており工期の短縮、低コストとなっています。

また、張弦梁を使用することにより建物全体を軽くすることで布基礎でも可能になっています。 このように木構造で大空間建築物が可能になったことで、今後木材の需要増加が期待できるものと考えられます。